

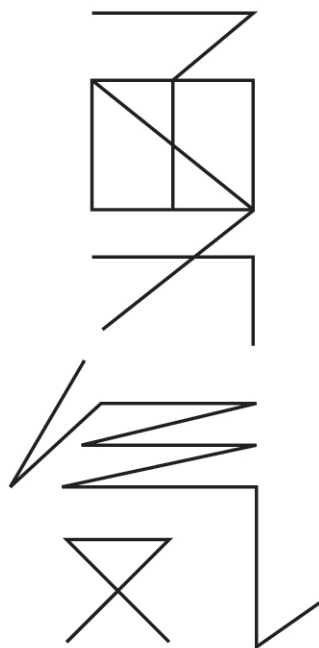
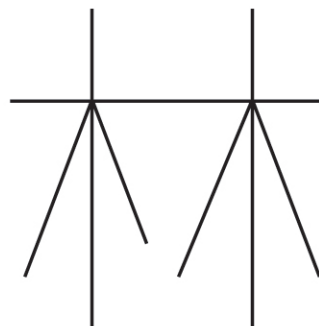
注目作家紹介プログラム チャンネル 1

林 勇気 展

あること being/something



会 期 平成23年2月18日[金]–3月19日[土]
午前10時–午後6時 ※最終日は午後5時まで
(金・土曜日は夜間開館 午後8時まで)
休館日: 月曜日
会 場 ギャラリー棟1階 アトリエ 1
観覧料 入場無料
主 催 兵庫県立美術館
後 援 財団法人伊藤文化財団



注目作家紹介プログラム チャンネル 1
HPMA Spotlight Artist Showcase CHANNEL vol.1

Yuki Hayashi

being/something
あること

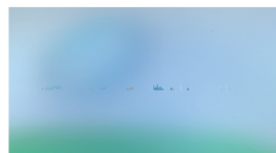
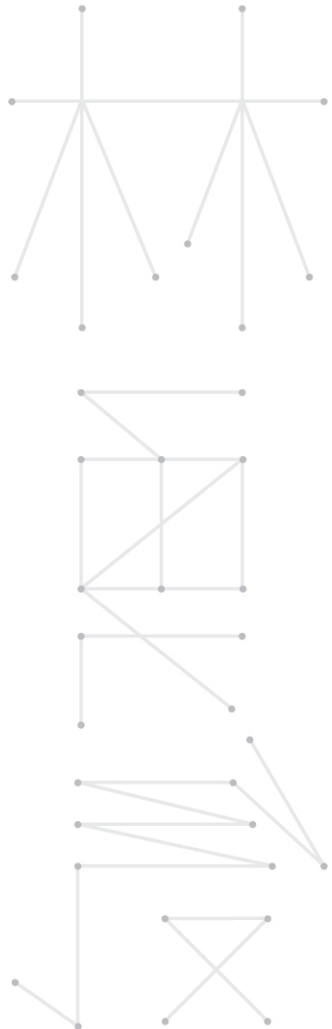
B E I N G

あ
る
こ
と

S O M E

T H I N G





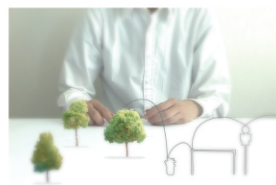
afterglow 001 / 2009 / video still



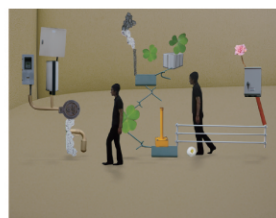
green 1 / 2008 / video still



landscape 1 / 2009 / HD Video / Projector
Installation at Art Court Gallery, Osaka, Japan
Photographed by Kiyoshi Sakashita



The outline of everything / 2009 / video still



overline 1 / 2009 / video still

兵庫県立美術館は新たな試みをはじめます。

今日の芸術表現は以前に比べてさらに自由に、大胆に、多様になってきています。今年度からはじまる注目作家紹介プログラム“チャンネル”はこうした「私たちの時代」の魅力溢れる表現をいち早く皆さまに紹介することを目的としています。

記念すべき第1回は、関西を拠点に活躍する映像作家・林勇気（1976年生）の個展を開催します。「ファミコン世代」を自認する林の代表的な作品は、コンピュータゲームの画面を思わせる世界を人物が淡々と歩きつづける映像作品です。一見するとCGのようにも見えますが、作品の素材は林自身が撮影した写真からとられたもの。作家の関心は常に私たちが生きるこの世界と、テレビやコンピュータ、壁に映し出される実体のない映像の世界のリアリティとに向けられているのです。

この展覧会のための新作《あること being/something》では、初の試みとして、作品の素材となる写真や映像世界の住人（出演者）が一般から募集されます。注目の映像作家による“体感する映像詩”をお見逃しなく。

CHANNEL

HPMA Spotlight Artist Showcase

注目作家紹介プログラム“チャンネル”とはチャンネル (channel) という単語には「海峡」や「水路」、兵庫県立美術館の前にもある「運河」、テレビやラジオの「チャンネル (局)」、「思考・行動の方向」、さらには何ものかとの「交信」など、様々な意味があります。そこに共通するのは「何かと何かをつなぐこと」。美術館を訪れる人と、同じ時代を生きるアーティストとがつながっていくことを願って、新企画のタイトルを“チャンネル”としました。

関連事業 |

SPANOVA / rimacona ライブ

日時 3月5日 [土]

午後5時30分開場 午後6時開演

会場 ギャラリー棟1階 ホワイエ

料金 無料

出演 SPANOVA、rimacona

映像 林勇気



〒651-0073 神戸市中央区臨海海岸1-1-1 | HAT神戸内 |
<http://www.artm.pref.hyogo.jp>
tel 078-262-0901 | 代表電話 |



交通案内 |

阪神岩屋駅から南に徒歩約8分・JR神戸線灘駅南口から南に徒歩約10分
阪急神戸線王子公園駅西口から南西に徒歩約20分
JR三ノ宮駅南から神戸市バス、阪神バスにて「県立美術館前」下車すぐ
※地下駐車場 (乗用車80台収容・有料)
※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください。
※団体バスは、バス待機所のご予約をお願いいたします。

